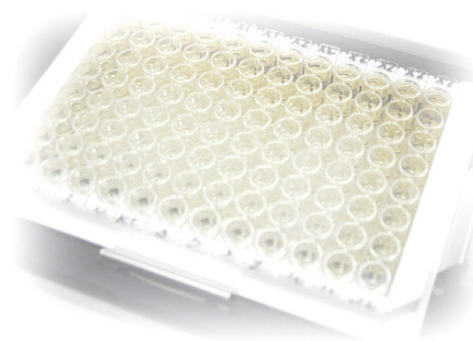
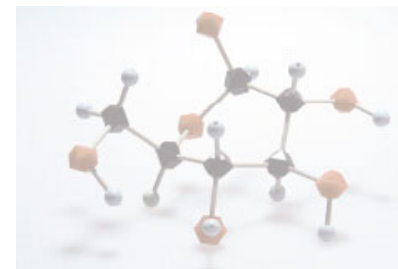


株式会社 免疫生物研究所**JASDAQグロース 証券コード：4570****代表取締役社長 清藤 勉**
平成25年 5月 27日（月）

平成25年3月期 (第31期)

1. 決算内容について



【研究用関連事業】

● 売上高: 568,015千円 (対前年比 18.9%減) ●

- タカラバイオ(株)による販売活動の苦戦。自社製品の販売数量は前期並みに推移したが、受託サービスにおいて、既存ユーザーの購買力に依存しており、新規開拓が進まず大幅に減収。
- 取扱製品である細胞培養関連試薬の価格競争が激化し、大幅に収入減。

【医薬用関連事業】

● 売上高: 195,756千円 (対前年比8.9%減) ●

- ヒト体外診断用医薬品のタゴシッドTDMキット及び牛海綿状脳症に対する動物用体外診断用医薬品は好調に推移。
- 米国BG Medicine社と抗ガレクチン-3抗体についての独占契約における契約料収入が発生。
- ドライサンプリングの販売終了により減少。

【その他事業(遺伝子組み換えカイコ事業)】

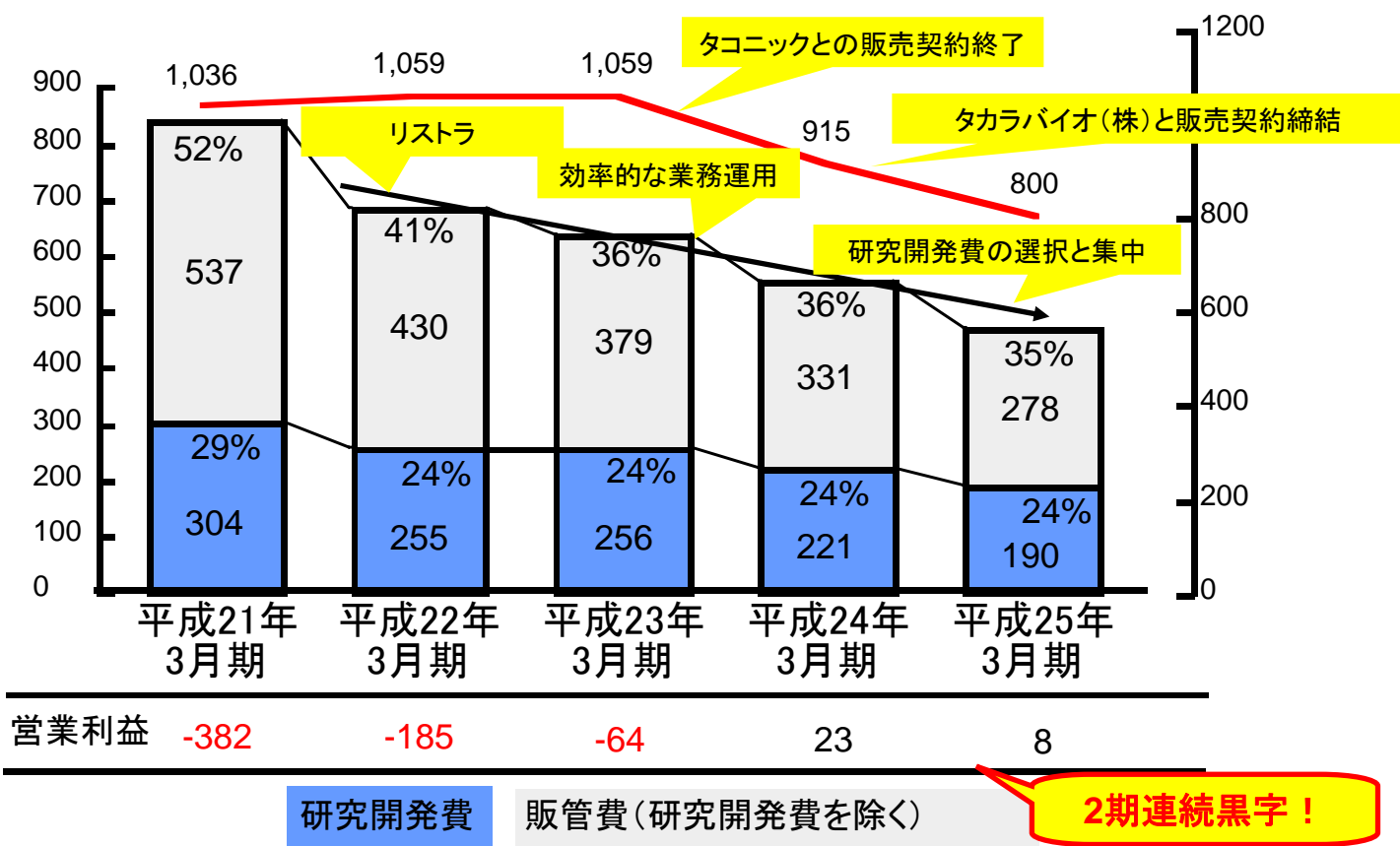
● 売上高: 36,310千円 (前同期は実績なし) ●

- 遺伝子組換えカイコの繭で生産する抗体作製受託が順調に推移
- 遺伝子組換えカイコの繭で動物用医薬品の原料を生産(研究段階)
- 遺伝子組換えカイコによるヒトコラーゲン配合化粧品原料の大量生産に成功。「INCI名」登録が完了し、全世界向けに販売活動を開始。

売上高 vs 販管費 推移

(百万円)

(売上高)



平成25年3月期(第31期)決算実績

(千円)	平成23年 3月期 (第29期)	平成24年 3月期 (第30期)	平成25年 3月期 (第31期)	総括
売上高	1,059,574	915,370	800,081	タカラバイオ(株)と 販売契約を締結
営業利益	▲64,096	23,515	8,518	2期連続の黒字化
経常利益	▲34,362	54,742	80,448	販売契約一時金の収入
当期 純利益	▲103,519	42,828	153,077	投資有価証券売却益の計上 (過去最高益)

(千円)	H23年3月期 (第29期)	H24年3月期 (第30期)	H25年3月期 (第31期)	主な理由(百万円)
営業活動による キャッシュ・フロー	131,159	125,672	228,703	・税引前利益の計上 +163 ・減価償却費 +85
3期連続のプラス！				
投資活動による キャッシュ・フロー	54,740	▲ 3,836	▲ 34,362	・投資有価証券の売却 +91 ・投資有価証券の取得 ▲106
財務活動による キャッシュ・フロー	51,273	▲ 32,514	185,664	・借入金の増加 +186
現金及び現金同等 物の期末残高	321,684	411,943	793,694	財務の安定化

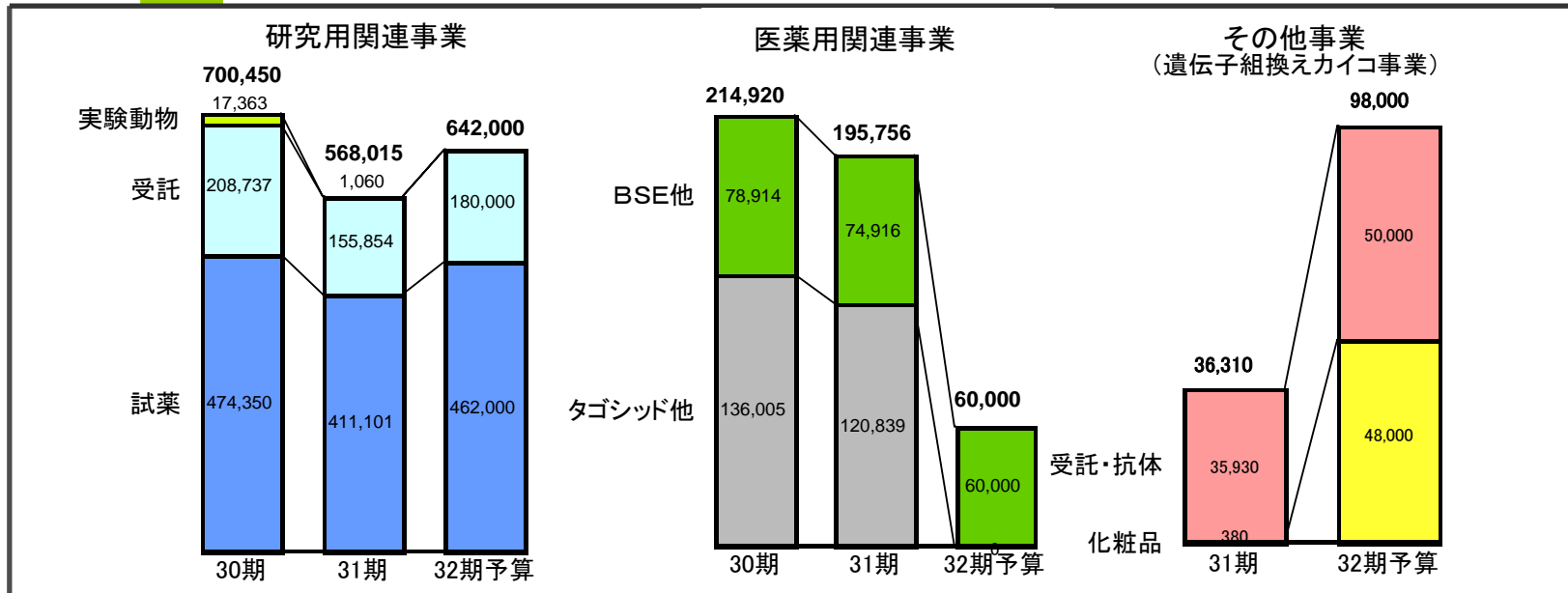
貸借対照表

(千円)	平成24年 3月末	平成25年 3月末	増減額	(千円)	平成24年 3月末	平成25年 3月末	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	975,173	1,278,985	303,811	流動負債	140,878	241,864	100,985
現金及び預金	444,050	836,809	392,758	固定負債	55,491	125,011	69,520
売掛金	197,852	164,660	▲33,192	長期借入金	54,600	123,915	69,315
固定資産	1,314,164	1,335,092	20,928	負債合計	196,369	366,875	170,505
有形固定資産	1,012,247	961,888	▲50,359	(純資産の部)			
無形固定資産	60,858	40,608	▲20,250	資本金	1,571,810	1,571,810	-
投資その他の資産	241,058	332,596	91,538	資本剰余金	491,753	491,753	-
				利益剰余金	42,828	195,905	153,077
				自己株式	▲16	▲16	-
				評価・換算差額等	▲13,406	▲12,250	1,156
				純資産合計	2,092,968	2,247,202	154,234
資産合計	2,289,338	2,614,078	324,739	負債・純資産合計	2,289,338	2,614,078	324,739

平成25年3月期 (第31期)

2. 平成26年3月期 (第32期)
業績予想について





(千円)	H25年3月期 第31期(実績)	H26年3月期 第32期(予想)	前期比 増減	主な要因
売上高	800,081	800,000	0.00%	・タゴシッド(取扱品)の減収を自社製品群の増収によりカバー
営業利益	8,518	20,000	134.8%	・自社製品群の売上増により利益改善
経常利益	80,448	18,000	▲77.6%	・販売一時金の減少。
当期純利益	153,077	13,000	▲91.5%	・有価証券売却収入の減少。

生産性・安全性の向上

製品開発の強化

アルツハイマー病、がん・炎症及び糖や脂質代謝関連疾患などの創薬研究を重要テーマとして開発

海外市場への展開

タカラバイオ(株)との販売契約提携

遺伝子組換えカイコ成長戦略

試薬・診断薬、化粧品原料、医薬品開発へ展開



ISO13485
認証施設

3. 新中期経営計画



研究用試薬

診断薬

医薬用ライセンス

公的研究機関・企業と積極的に共同研究や提携を実施

アルツハイマー病

診断薬製品を海外企業と共同開発中。
平成26年に上市を予定。

新しい診断薬の共同開発中

脳関連疾患

製品開発

代謝関連疾患

生活習慣病

治療支援と診断に向けた、長期的な商品開発

スカイライトバイオテックの子会社化

標的医療

対象疾患の特定
(選択と集中、例)中皮腫)

がん・炎症

新規項目

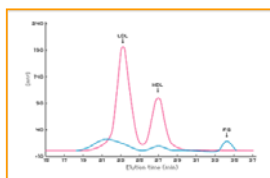
他社には無い差別化できる製品の創出

生活習慣病エリアにおける創薬・研究支援ならびに
各種疾患の予防・診断支援を通じた医療への貢献

研究開発支援事業

- 最先端の研究ツールを活用したサービスの提供

LipoSEARCH



LipoEX

SuperNORM

生活習慣病

予防医療支援事業

- 人間ドック受診者におけるMetS、動脈硬化のリスク判定サービス
- 各種生活習慣病の新たな診断マーカーやツールの研究・開発

Meta**o**
CHART

ペット診断支援事業

- 動物病院におけるコンパニオン・アニマルの診断支援サービス

LipoTEST

- **【がん関連抗体】**
ヒト成人T細胞白血病(ATL)の発症原因であるHTLV-1ウイルスに対する中和抗体の治療薬開発
- **【アルツハイマー病関連抗体】**
 1. アミロイド β タンパク質に対する抗体、コード名「82E1」について、契約を締結した米国Intellect Neurosciences, Inc.が、アルツハイマー型認知症治療薬「COMJUMAB-A」を開発中。(参照:
<http://www.intellectns.com/>)
 2. 毒性アミロイド β タンパク質を標的にした抗体を開発
- **【関節炎・自己免疫疾患関連抗体】**
当該タンパク質及び関連因子に対する抗体を開発



- **【循環器疾患】**

拡張型心筋症の予後に係わるタンパク質として、Tenascin-Cを見出している。診断における臨床研究の実施中。

- **【アルツハイマー病】**

原因タンパク質の測定キットの共同開発を海外企業と実施中。国内外での製造販売承認を目指す。

- **【中皮腫】**

研究形検診の成果を早期診断法に向けて開発中。

- **【めまい・難聴にかかわる疾患】**

新規項目として製造販売承認を目指して開発中。

- STEP **1** 試薬、診断薬原料（抗体）
- 自社製品原料抗体の転換
 - 他社製品原料抗体の転換
- STEP **2** 化粧品原料（ヒトコラーゲン）
- INCI名（化粧品原料の国際名称）を取得済
 - 日本国内での表示名称の取得を申請中
- STEP **3** 治療薬原料（タンパク質）の開発
- 動物用治療薬原料
 - フィブリノゲン（止血剤）の開発
 - ウイルスワクチンの共同開発

実用化と新産業の創出

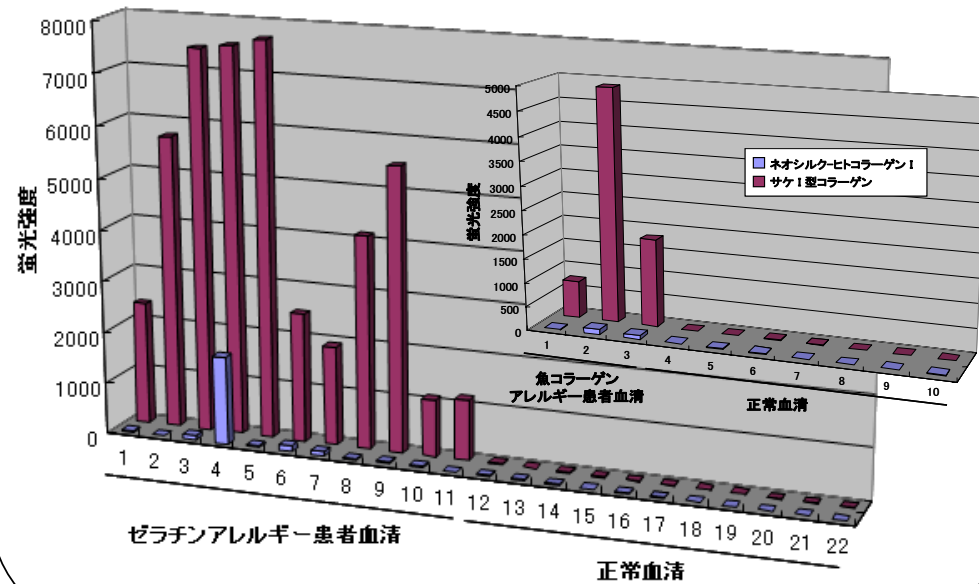
化粧品原料(ヒトコラーゲン)

ゼラチンアレルギー患者血清との反応性

ウシや魚由来に
比べて低いアレルゲン性を証明

既存水溶性コラーゲン(ウシ、魚由来)との差別化

アレルギー性などの安全性を担保できる



麻布大学獣医学部獣医学科微生物学第1研究室の
阪口雅弘教授へ依頼した委託研究の成果です。

(百万円)	平成24年 3月期 実績	平成25年 3月期 実績	平成26年 3月期 計画	平成27年 3月期 計画	平成28年 3月期 計画
売上高	915	800	800	1,000	1,200
(研究用試薬関連)	(682)	(566)	(642)	(700)	(750)
(実験動物関連)	(17)	(1)	-	-	-
(医薬関連)	(214)	(195)	(60)	(150)	(200)
(TGカイク)	(1)	(36)	(98)	(150)	(250)
売上原価	339	323	329	400	450
販管費	552	468	452	500	550
営業利益	23	8	20	100	200
<p>平成25年7月1日株式会社スカイライト・バイオテックの完全子会社化⇒平成26年3月期より連結決算 連結業績予想及び連結中期経営計画を策定中</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・販売構造の再構築を確実に実行 ・他のバイオベンチャー企業と積極的に連携 ・新たな体外診断医薬品の上市。 ・遺伝子組換えカイク事業に注力。 		



本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品上市の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

